

【活動の主題】 三上を誇りに思い、三上を愛する子に！

【副題】 ～地域の人とともに～

【学校名】 野洲市立三上小学校

1 本校の概要

本校は、昨年創立 125 周年を迎え、周囲には、近江富士として有名な三上山や国宝に指定されている御上神社、一級河川の野洲川があり、古くからの歴史と豊かな自然に囲まれた学校である。全校児童 183 名で小規模校であるが、三上学区の地域や保護者の方々の学校に対する思いは強く、大変協力的である。

昨年度から取り組み始めた「みかみっこ未来団」（地域のサポーター）などの支えを受けて、地域に根差した学習活動や学校行事を見つめ直し取り組んでいくことで、これから先も郷土を愛し、郷土を誇れる児童に育てていきたいと考えている。



2 取り組んだ内容

(1) 三上山登山

毎年4月、3～6年生の児童が豊かな自然と三上山の偉大さを身をもって感じることをめあてに、三上山登山を行っている。たくさんの地域の方が一緒に登ってくださることで、児童は安心して安全に登り切ることができる。山頂からは学校や三上の地域を眺めることができ、児童は達成感と三上山の素晴らしさを感じる事ができた。

(2) ひょうたんづくりや野菜の栽培活動

4年生理科の学習の一環でひょうたんを育てるため、土づくりや苗の植え方について地域の方に教えていただいた。児童が水やりや草取りなどの世話をするのはもちろんのこと、休日の世話や支柱の補助などご協力いただいたおかげで、今年の酷暑を乗り切り実らせることができた。できたひょうたんは乾燥させた後、色付けをして、悠紀まつり（地域の文化祭）で展示することができた。



(3) 愛校清掃活動

夏季休業中に、同窓会や学校運営協議会、PTAなどの地域の方々とともに、校地内の草刈りや校舎内の清掃等に児童とともに取り組んだ。児童だけでは十分にしきれないところまできれいにさせていただくことができ、気持ちよく2学期を迎えることができた。

(4) まち探検や校外学習における見守り支援

2年生のまち探検では、グループに分かれ、地域の店や施設を見学し、そこで働く人々から話を伺った。地域の方の支援のおかげで、安心して探検できるとともに、三上のよさや人の温かさを感じることができた。

また、電車に乗って京都まで校外学習に行ったときにも、地域の方の支援のおかげで、児童一人ひとりが切符を買い、安心・安全に電車に乗ることができた。

(5) 天保義民フィールドワーク

土川平兵衛顕彰会会長をゲストティーチャーに迎え、郷土の先人である土川平兵衛のゆかりの地を実際に巡りながら、先人の思いや生き方について学んだ。学習後、児童は、先人の功績に思いを馳せ、自分自身の生き方についても深く考えることができた。



(6) 左義長体験

毎年1月上旬に、学校行事として左義長体験を実施している。児童は家族の健康や学業上達を願いつつ、伝統行事を体験することができる。これも、大量の竹の運搬、6年生も協力しながらの竹組づくり、最後の火の始末まで、同窓会や地域の方々が協力して動いてくださるからこそできることである。児童は、地域の方への感謝はもちろんのこと、三上小ならではのこの行事を誇りに感じている。

3 活動の成果

これらの活動を通して、児童は、三上の地域の方々に様々な場面で常日頃からお世話になっていることに感謝している。

また、地域の方々に関わっていただき、地域のことについて学びを深めることで、子どもたちは自分たちの住む三上の地域に豊かな人や自然、歴史があることを再確認するとともに、三上に住んでいることを誇りに思う子どもたちに育ってきている。

今後、これらの活動が、教職員が変わっても地域とともにある学校として活動が継続、発展していけるよう、地域学校協働活動推進員を中心としながら繋いでいき、更に地域との連携に努めていきたい。